

聖稜だより

令和5年
春号②



発行者：医療法人社団 聖稜会
責任者：理事長 宮津 巖
発行日：令和5年 4月10日

MediVR 神楽（カグラ）を 導入しました！

リハビリテーション部

当院では、株式会社 mediVR が開発した VR リハビリテーション機器 medi VR カグラを導入しました。

mediVR カグラってなに？

(1)座位によるリハビリ

椅子に座ったまま左右交互に腕を伸ばすことで、全ての動作の基本となる姿勢バランスや重心移動のコツを掴むというもの。立位姿勢の保持や歩行が難しい方も安全に取り組むことができます。

(2)二重課題トレーニング

仮想現実空間内に表示される対象の位置や動く速度を捉えて、触れるように手を伸ばします。

カグラで行う動作は、認知課題と運動課題に同時に応える必要とします。

(3)自発性を引き出す設計

自分の目の前にゆっくり落ちてくるものがあると、人は思わず手を伸ばしてしまうもの

カグラはそうした行動科学の知見をもとに開発されました。

(4)定量指示・定量評価

手を伸ばす距離や方向を定量的に指示し、達成度合いを定量的に評価することが可能

応用可能疾患



です。一人ひとりに適した負荷レベルの課題を与えられるため、リハビリの効率が大幅に向上します。

(5)多感覚フィードバック

リーチング動作がうまくいくと、画面が光って『あっぱれ!』という文字が表示され、『ピコーン』と音が鳴り、コントローラーが振動します。

視覚、聴覚、触覚といった多方面からのフィードバックによって脳の報酬系を刺激します。



カグラを用いて、より質の高いリハビリテーションの提供を目指します！

活用してみて……

食事の際に姿勢が崩れてしまい、運搬動作に支障をきたしていた患者さんに対して、カグラでのリーチトレーニングにて重心移動を促したことにより、その後の食事動作時の姿勢崩れが減少し、スプーン等を使用した運搬動作に改善が認められました。



～リハビリテーション部から～

今年度は、理学療法士2名、作業療法士1名、言語聴覚士1名を新たに迎え、令和5年度がスタートしました。



若い新入職員がすこしずつ病院の環境や業務に慣れ、よりよいリハビリを提供できるよう、リハビリテーション部一同、新たな機器と共に、学びながら歩んでいきたいと思えます。

今後ともよろしくお願ひいたします。

編集後記

前回の秋号発行から、次は春先だと心に決めていました。が、気が付けば桜も終わり、緑豊かな季節になってしまいました。それにしても今から雑草との闘いが始まると思うと頭が痛いです。◎